

【入館料】
 一般 1,200 (1,000円)
 高大生 600 (400円)
 小中生 400 (200円)

●()内は前売料金(いずれも税込価格) ●前売券はローソンLoppi(Lコード55430)または当館受付にて販売【前売券の販売は8月12日(金)まで】
 ●西宮市内在住の一般の方は1,000円(要証明書呈示)
 ●西宮市内在住65歳以上の方は500円(要証明書呈示) ●ココロカード・のびのびパスポート呈示の小中生は無料 ●心身に障害のある方及び介助者1名は無料(要手帳等呈示)

【交通】阪神電車「香櫨園」駅南西徒歩6分(近鉄奈良・大阪難波より直通) / JR「さくら夙川」駅南西徒歩15分 / 阪急電車「夙川」駅南西徒歩18分

「ぎやらりーさんぽ」とは？

2011年に発足した西宮ギャラリー連絡会が中心となり、毎年当館でのポローニャ展の会期に合わせて入選作家を中心とした個展や絵本に関連した企画展を西宮市内に点在しているギャラリーにて開催しています。タイミングが合えば、ギャラリーに滞在中のアーティストから作品や制作についてお話を伺えることも。当館で展覧会をご覧いただいたあとは、是非ギャラリーを巡ってみてください。
<https://ngl2011.jimdofree.com>

2022
 8/13 Sat
 9/25 Sun

【開館時間】午前10時～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

9月17日(土)、18日(日)、23日(金・祝)、24日(土)は午後7時まで延長開館(入館は午後6時30分まで)

【休館日】水曜日

ユ・チーチュン (台湾)
 《黒ネコ、魚市場に行く》



2022
 2022
 Bologna Children's Book Fair Illustrators Exhibition
 国際絵本原画展

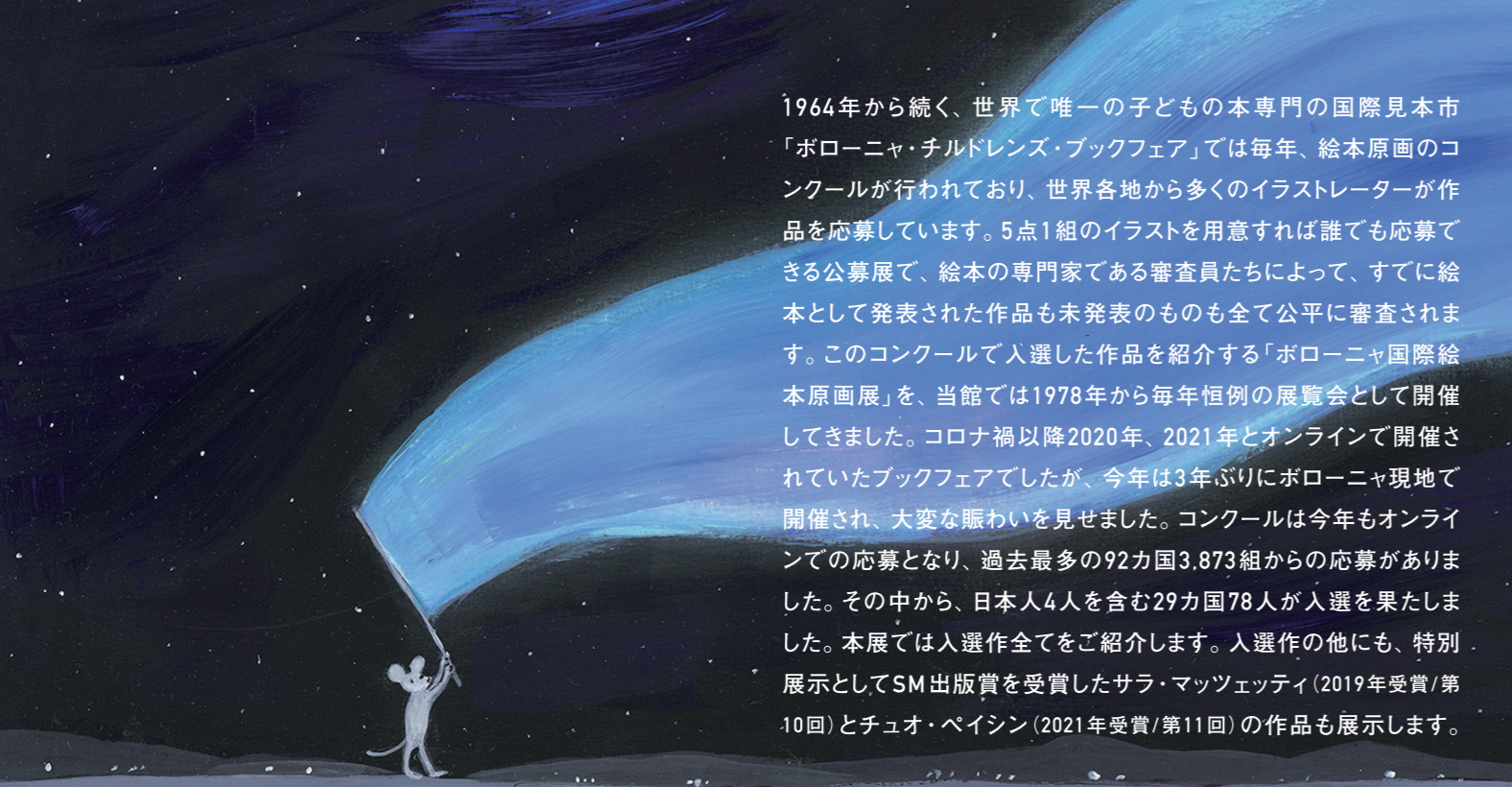
【主催】公益財団法人西宮市大谷記念美術館、一般社団法人日本国際児童図書評議会 (JBBY)
 【後援】西宮市、西宮市教育委員会、イタリア文化会館-大阪
 【協力】Bologna Children's Book Fair Bologna Illustrators Exhibition,
 created by Bologna Children's Book Fair / BolognaFiere in partnership with JBBY

特別展示
 2019/2021
 ポローニャ SM出版賞
 サラ・マッツエッティ
 チュオ・ペイジン

西宮市大谷記念美術館 Otani Memorial Art Museum, Nishinomiya City
 〒662-0952 西宮市中浜町4-38 tel.0798-33-0164 <http://otanimuseum.jp>
 ※新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止のため会期の変更、入場制限を行う場合があります。最新の情報は美術館公式HPでご確認ください。

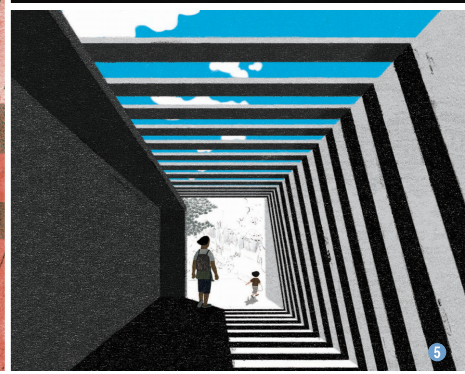


西宮市大谷記念美術館
 Otani Memorial Art Museum, Nishinomiya City



1964年から続く、世界で唯一の子どもの本専門の国際見本市「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」では毎年、絵本原画のコンクールが行われており、世界各地から多くのイラストレーターが作品を応募しています。5点1組のイラストを用意すれば誰でも応募できる公募展で、絵本の専門家である審査員たちによって、すでに絵本として発表された作品も未発表のものも全て公平に審査されます。このコンクールで入選した作品を紹介する「ボローニャ国際絵本原画展」を、当館では1978年から毎年恒例の展覧会として開催してきました。コロナ禍以降2020年、2021年とオンラインで開催されていたブックフェアでしたが、今年は3年ぶりにボローニャ現地で開催され、大変な賑わいを見せました。コンクールは今年もオンラインでの応募となり、過去最多の92カ国3,873組からの応募がありました。その中から、日本人4人を含む29カ国78人が入選を果たしました。本展では入選作全てをご紹介します。入選作の他にも、特別展示としてSM出版賞を受賞したサラ・マツェッティ(2019年受賞/第10回)とチュオ・ペイシン(2021年受賞/第11回)の作品も展示します。

ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアとは?
イタリア北部の都市ボローニャで1964年に始まった、子どもの本専門の国際見本市です。毎年春に開催され、世界中から集まった出版社がブースごとに分かれて、出版物を紹介したりイラストレーターとの商談を行います。期間中には、絵本原画のコンクール、編集者や絵本作家らによるトークイベント、優れた絵本を表彰する賞の授与式など、ブックフェアを盛り上げる様々なイベントが開催されます。今年は18の展覧会と250以上のライブイベントが実施され、ウクライナの絵本を紹介するブースの設置や戦時下の子どもに関する講演会など、時勢を反映した企画も開催されました。
<https://www.bolognachildrensbokfair.com>



絵本原画コンクールとは? ブックフェアを盛り上げるため1976年に始まった、世界最大級の絵本原画のコンクールです。毎年世界中から編集者や大学の教授、絵本作家など、絵本の専門家4~5名が審査員として選ばれます。今年も日本の絵本作家の降矢奈々氏も審査に参加しました。作品サイズの上限はありませんが、国籍や出版歴の有無に関する規定はなく、応募条件は5点1組のイラストを用意することのみ。未発表の作品でも、既に絵本として発表された作品(ただし2年以内に発行されたもの)でも応募可能です。作品技法にも制限はありません。このコンクールでの入選は、世界中の出版社に自作をアピールできるチャンスでもあり、これを機に絵本を出版するなど、絵本作家としての第一歩を踏み出した入選者も数多くいます。日本からは第一回展に松原直子が入選して以来、毎年多くのイラストレーターが出品しており、日本人は毎年入選を果たし続けています。コロナ禍以降、オンラインでの応募になったことで、郵便事情があまり良くない国からの応募も増え、より多くの国の作品が入選を果たすようになりました。

2022 イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展

個性あふれる絵本原画作品が一堂に!!

Bologna Children's Book Fair Illustrators Exhibition

Events/

ワークショップ①
「つなげて つくろう みんなのまち」

入選作家の高橋祐次さんが考案したワークショップ。六角形のパネルに思い思いの町を描きます。完成した作品は展覧会期間中美術館にて展示し、みんなが作った町のかげらをつなげて大きな町を作り上げます。ワークショップキットをご購入し、お家で制作を楽しんでいただくワークショップです。

販売開始日 **8月1日(月) 10:00~**
定員 **先着50名**
価格 **800円(税込)**
●通信販売の場合1,170円、別途振り込み手数料がかかります
対象 **どなたでも**

購入方法 美術館または通信販売にてご購入いただけます。通信販売の詳細はホームページをご確認ください。

高橋祐次 (2022イタリア・ボローニャ国際絵本原画展入選者) 絵本作家、画家。東京藝術大学大学院デザイン専攻修了、修了制作「大テザイン賞」絵本作品に「山びこくん」(文芸社)、「ぼくはくま、みんなもくるま」(あかね書房)、「ずぼっ じー」(講談社)がある。

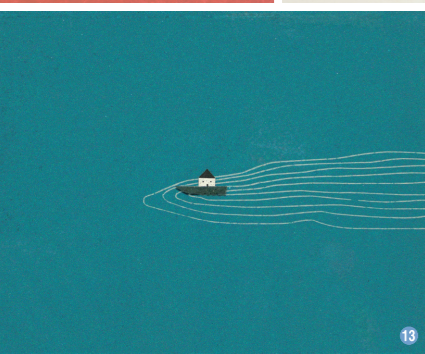
ワークショップ②
「紙版画で森に住むいきものを作ろう」

入選作家の北村麻衣子さんと一緒に紙版画を制作します。紙を貼って版を作る紙版画は、版画のなかでも気軽に作れる技法の一つです。テーマは動物や昆虫など「森に住む生きもの」です。

開催日時 **8月16日(火)**
13:30~15:30
定員 **13名**(応募多数の場合は抽選)
価格 **500円(税込)**
対象 **幼稚園年中~小学生**

応募方法 参加者全員の氏名・年齢・電話番号・住所を明記のうえ、メール(otaniews@otanimumuseum.jp)または往復ハガキ(〒662-0952 西宮市中浜町4-38)で申し込み。7月29日(金)必着。

北村麻衣子 (2022イタリア・ボローニャ国際絵本原画展入選者) 京都府生まれ千葉県育ち。日本版画家協会会員。現在は小学生の2児の母で木版画家をしながら子どもたちのアートサークルを主宰。子どもの頃たくさんの絵本を読んでもらったことや、現在住んでいる山と海のある自然豊かな環境により創作欲を掻き立てられる。2015年~2022年NHK Eテレ「キミなら何くる?」(重ねてカラフル!ほり進み版画)出演。2020年FEI PRINT AWARD(大賞)等。



①久保田寛子(日本)《いたずらネズミの生活》 ②相澤史(日本)《ミセス オークさん》 ③マリア・ネステレンコ(ロシア)《地球の内側へようこそ!》 ④チェン・インジュ(台湾)《太陽の東月の西》 ⑤イ・スンオク(韓国)《空のかげら》 ⑥シャルロット・ルメール(フランス)《のんびりくつ下とヘンテコな道》 ⑦マヌエラ・モントヤ・エスコバル(コロンビア)《虫ホテル》 ⑧テレジア・フィロヴァー(スロヴァキア)《ペノ》 ⑨アナ・ベス(スペイン)《燃える隕石》 ⑩北村麻衣子(日本)《森のセッション》 ⑪アリス・ワールガリアン(フランス)《ピンクちゃん》 ⑫アデル・ヴェランタン(フランス)《ポリーと3匹の犬》 ⑬高橋祐次(日本)《消えた島》 ⑭トン・ヤン(中国)《髪を切りに》 ⑮リ・タオユー(中国)《モグラの子と星たち》 ⑯カーリン・シーレン(スウェーデン)《スーパーマーケットの裏で》